

# 寺方山中中小保存出版社



## 須坂の魅力

蔵の街並み

「農」の営み

「工芸」の営み

程よい交通の良さ

## 須坂の課題

①人口の減少、小中高齢化

②商店経営者の高齢化、後継不足

③商店の閉鎖、中心市街の空洞化

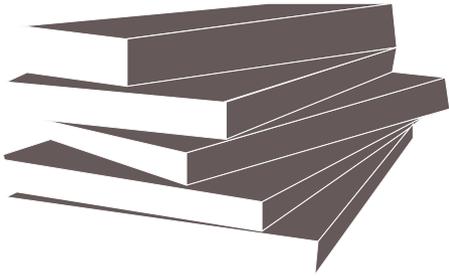
④商業の不活性化

⑤蔵の街なみの取り壊し

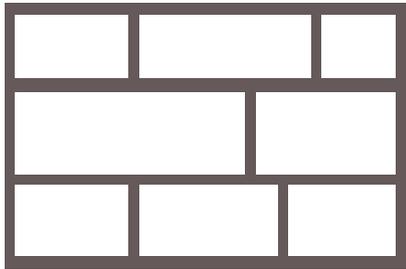
若い移住者を取り込み、街を活性化させる必要性

そのためには、街での暮らし、魅力を知ってもらう必要がある。

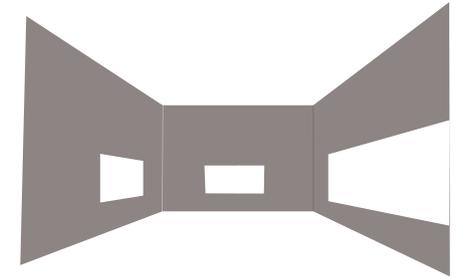
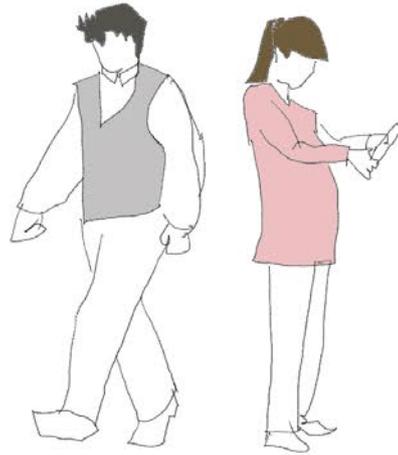
# PROGRAM 全体の内容



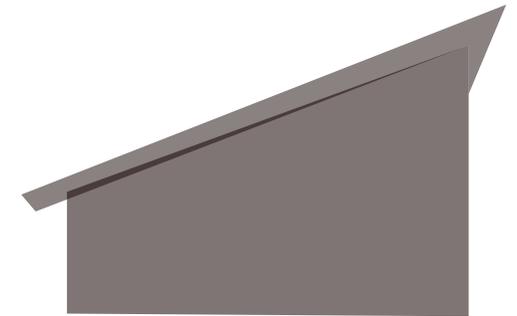
出版社



ライブラリ



ギャラリー



地域のコミュニティセンター

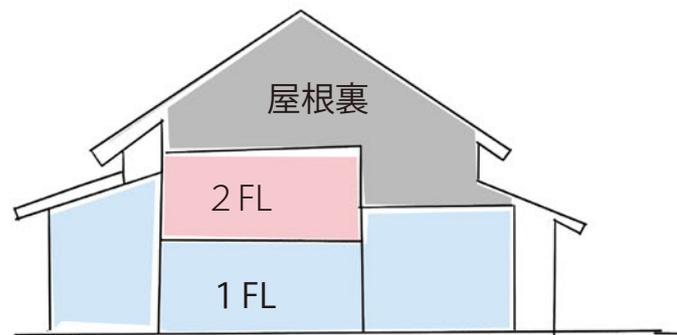
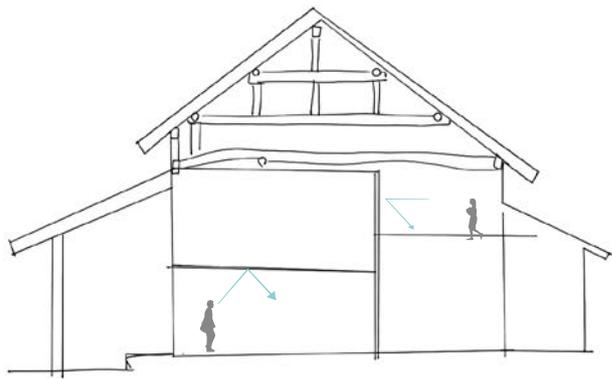
夫婦が営む小さな出版社を提案する。

須坂の魅力を発信し、移住を促進するような本を出版する。

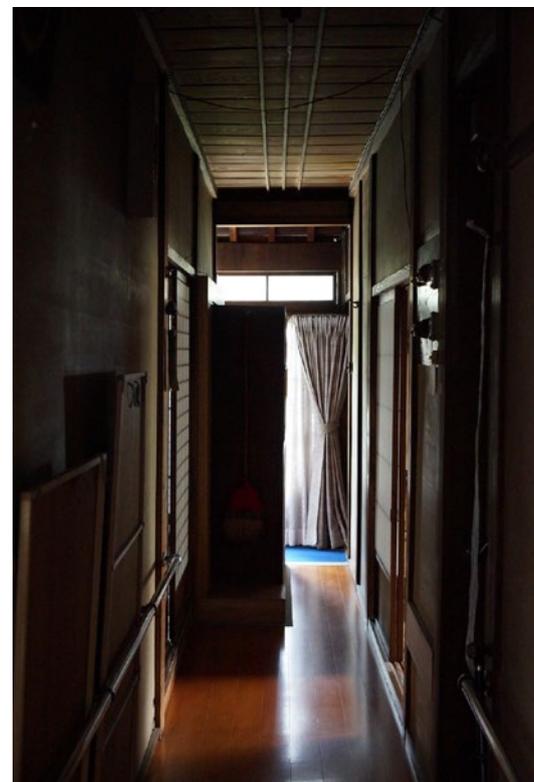
そのほかにも複数の機能を兼ね備えた地域の交流の場を設計する。

# PROGRAM 現状の分析

かつての座って生活することを想定した天井 → 現代の生活では少し窮屈

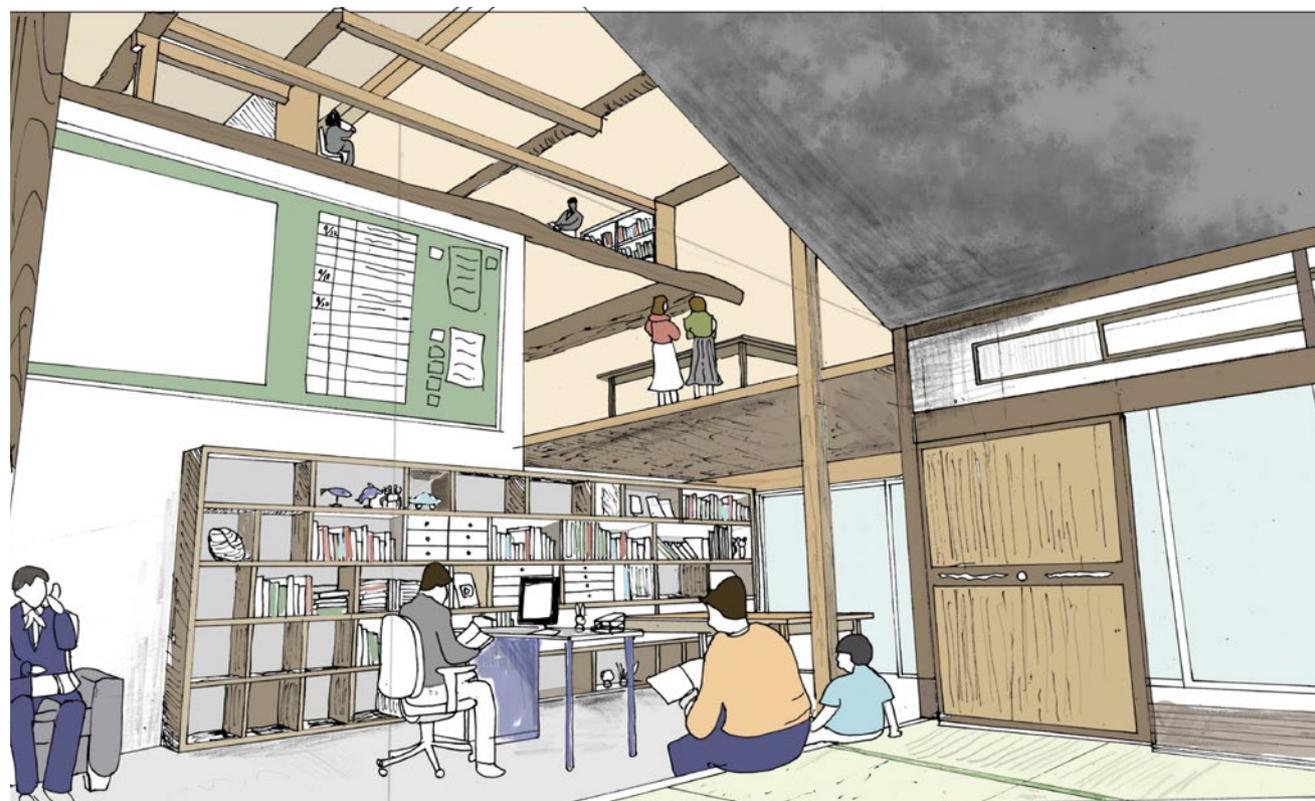
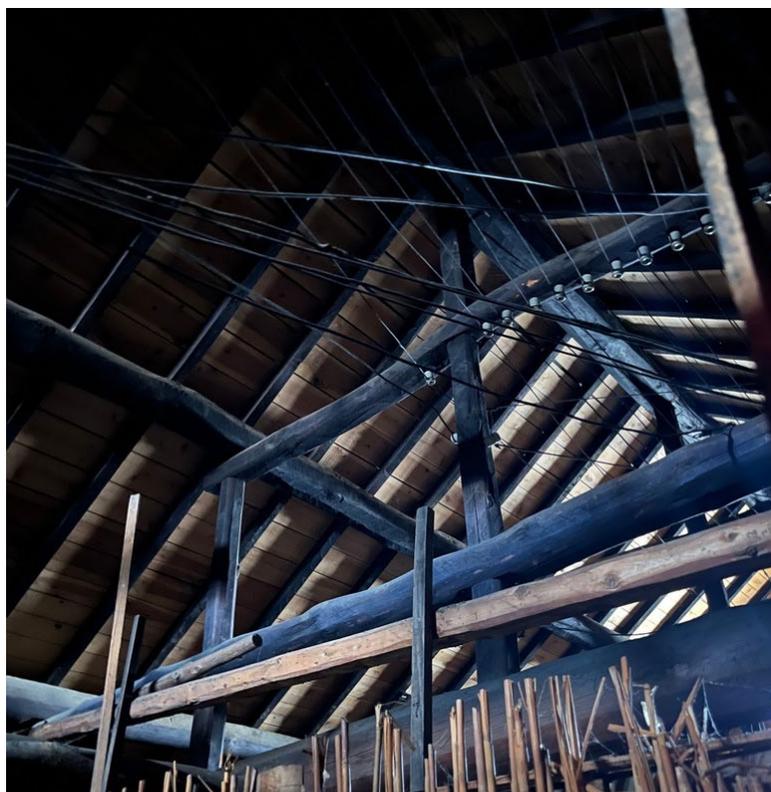
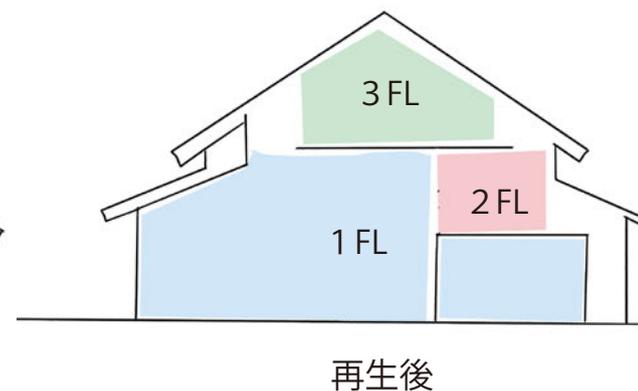
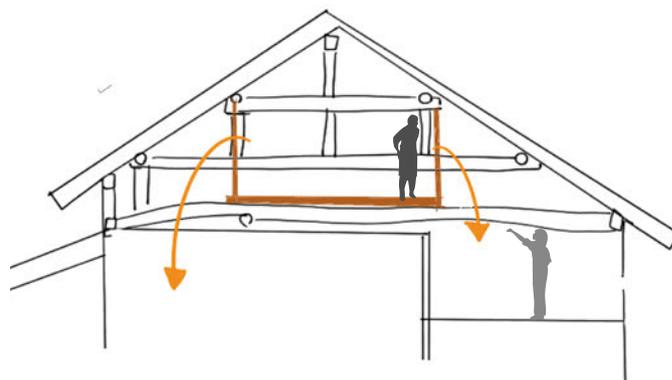
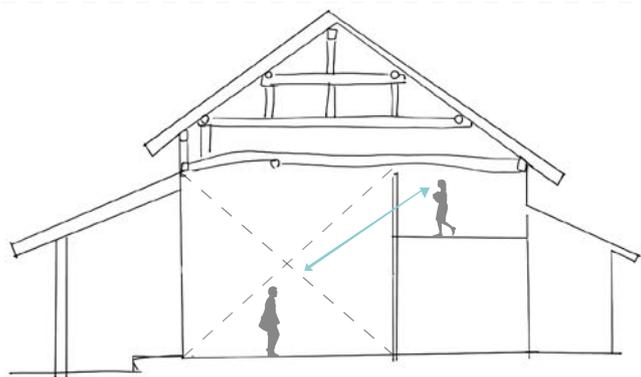


再生前

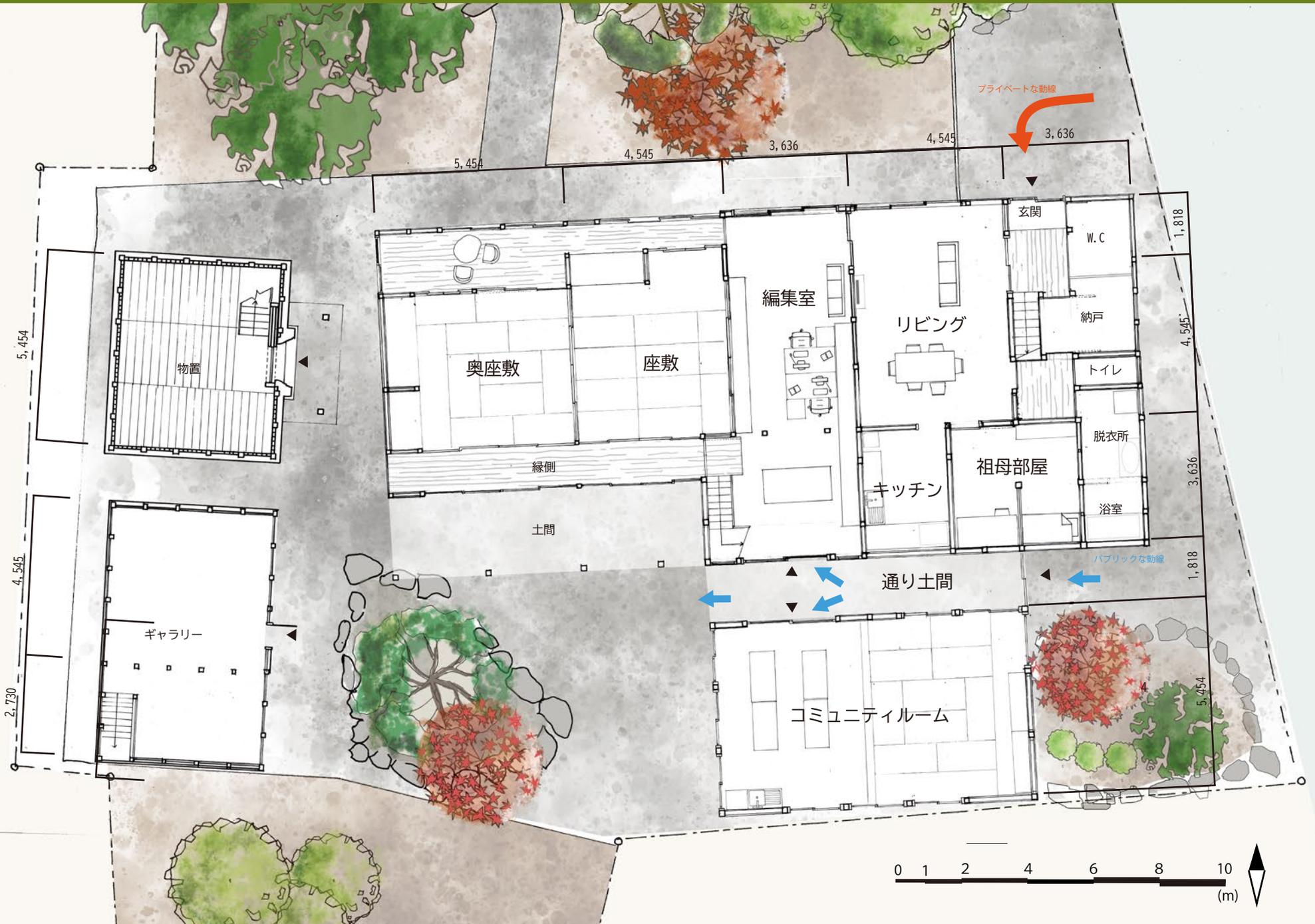


# PROGRAM 建築的な操作

吹き抜け空間、スキップフロア、三階の挿入によって小屋組を生かした空間に

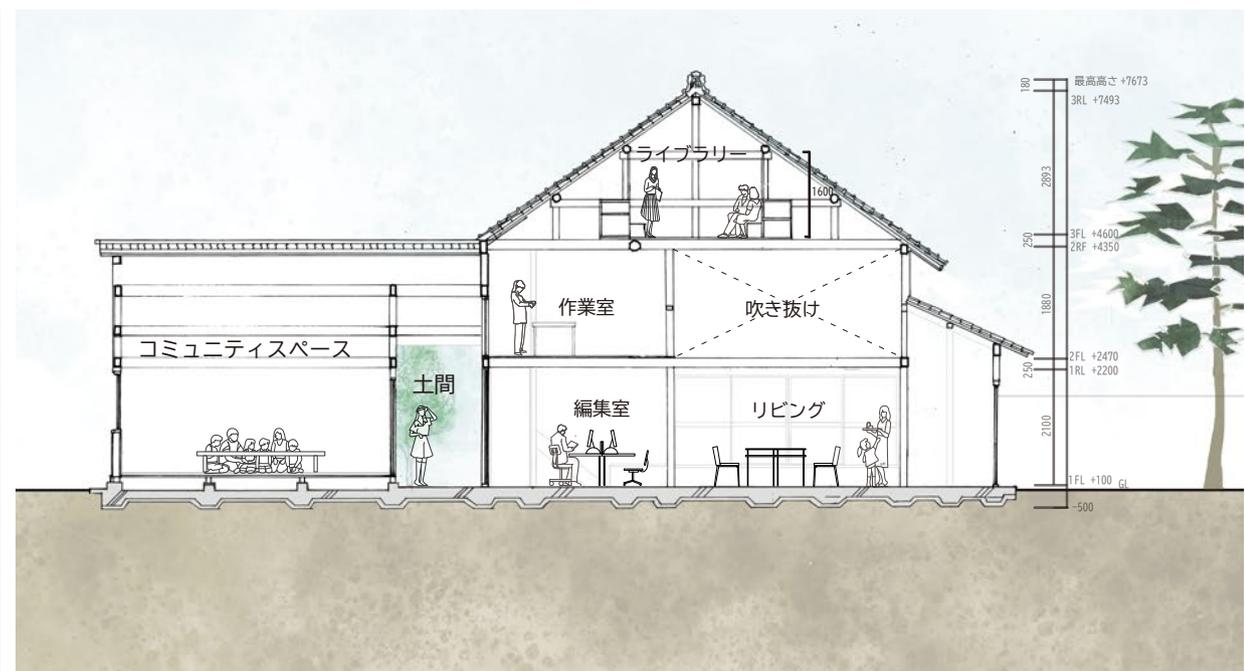
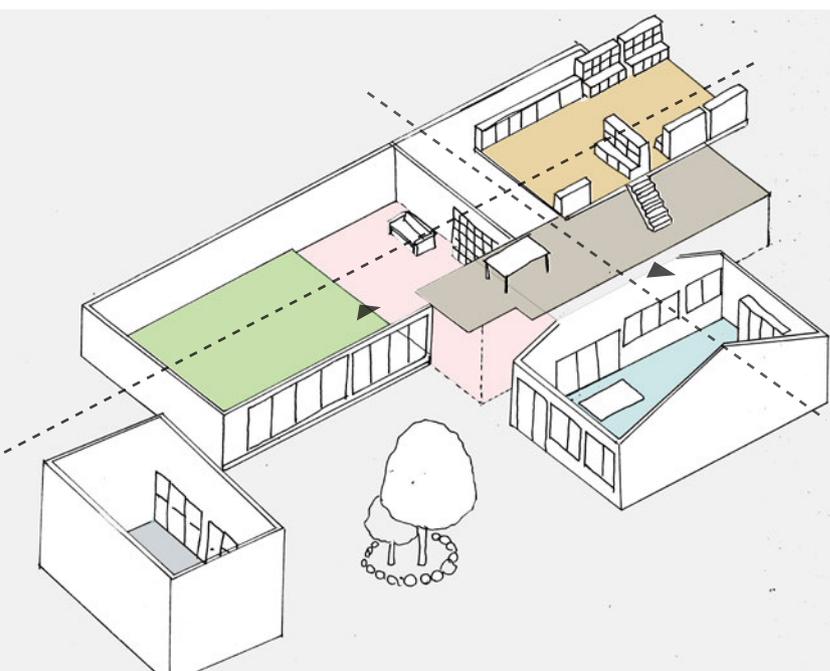
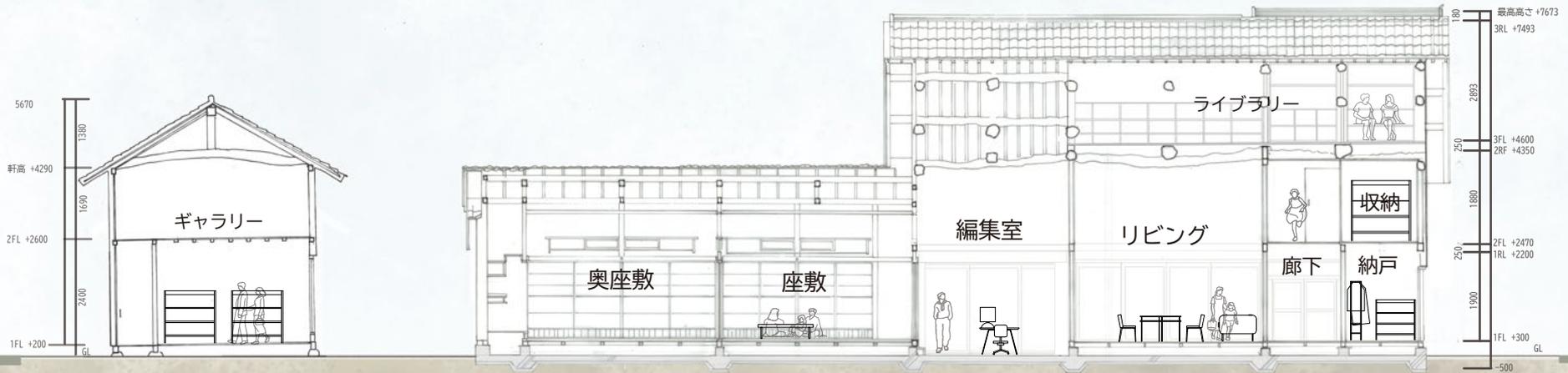


# PLAN 一階 配置平面図

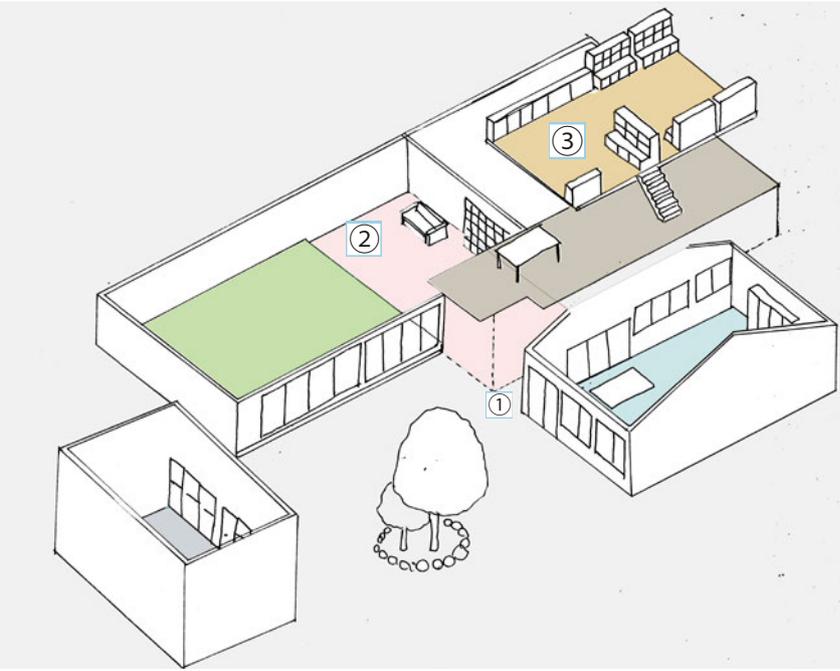


# PLAN

# 断面図



# SCENE 想定される活動の様子



様々な建築的操作により、ひと繋りのパブリックな空間を創出。

須坂の情報発信の拠点となり移住者と住民との交流の中心となる。

